

中部電力浜岡原子力発電所2号機の手動停止に係る 中部電力からの報告について

平成14年5月27日
原子力安全・保安院

1. 平成14年5月25日の中部電力からの報告内容

中部電力浜岡原子力発電所2号機（沸騰水型、定格出力84万キロワット）は、5月24日13時39分から原子炉を起動していたが、5月25日2時20分頃原子炉圧力約1MPa（約10kg/cm²）の保守員の現場確認において、余熱除去系低圧注入管第2隔離弁（B）のドレン配管の溶接部から水漏れが発見された。このため、詳細な点検調査を行うこととし、同日2時49分原子炉停止操作を開始し、4時34分に原子炉を停止したとの報告が、5月25日に中部電力からあった。

なお、外部に対する放射能の影響はない。

（平成14年5月25日お知らせ済み）

2. 本院の対応

原子力安全・保安においては、現地の保安検査官が現場確認を行うとともに、環境モニタリングポストの値に変動がないこと等、放射性物質の環境への影響がないことを確認した。

また、中部電力に対し徹底した原因究明と適切な対応策を講じるよう指導した。

今後、本院に対して中部電力から原因究明に係る当面の調査方針について報告される予定である。

（INESによる暫定評価）

基準 1	基準 2	基準 3	評価レベル
—	—	0+	0+

＜浜岡原子力発電所 2 号機手動停止に係る時系列＞

5 月 2 4 日 1 3 : 3 9 原子炉起動

5 月 2 5 日 2 : 2 0 頃 係修員のパトロールにて漏えい発見

2 : 4 9 原子炉停止操作開始（制御棒挿入開始）

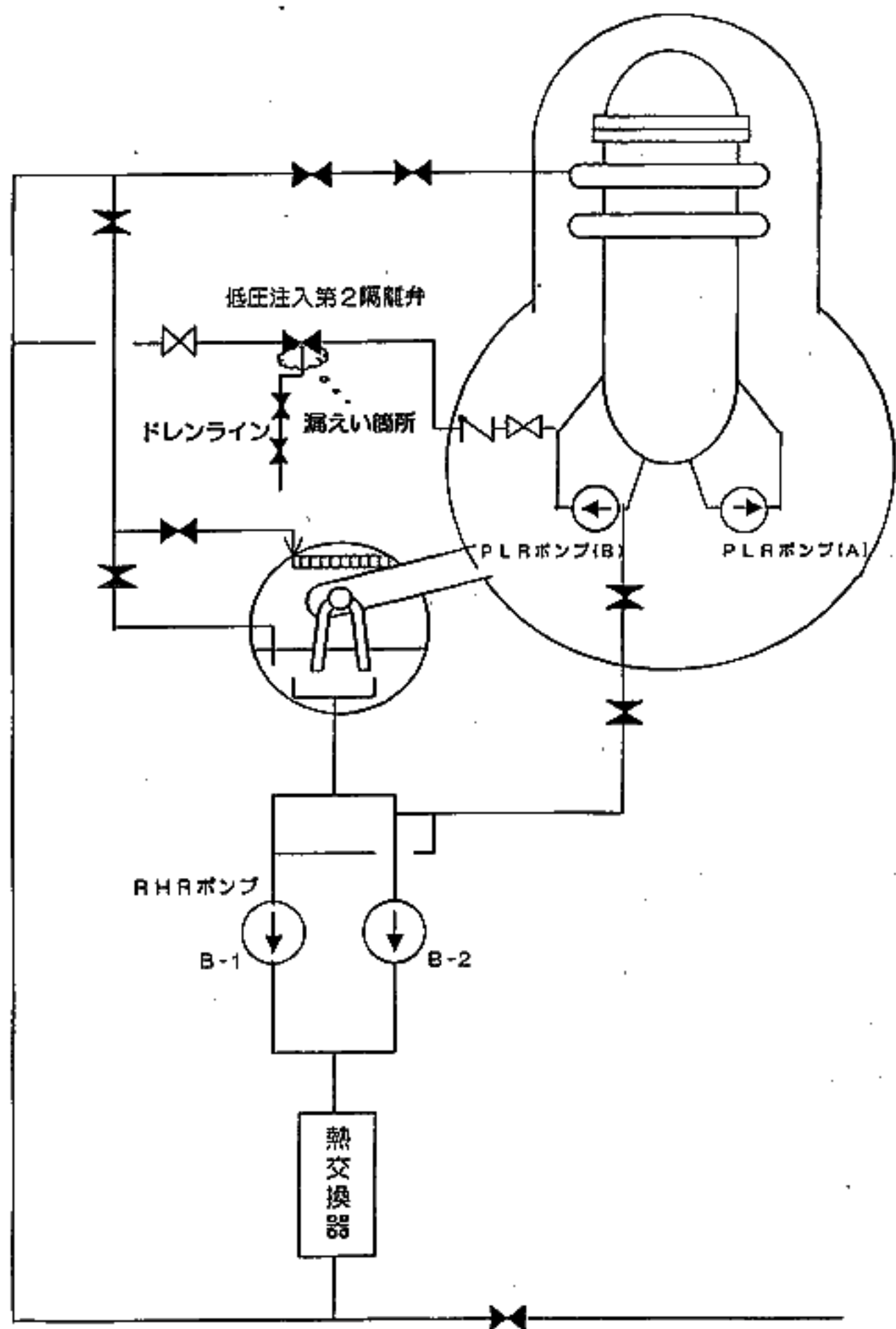
3 : 1 0 中部電力側から原子力安全・保安院に第一報

4 : 3 4 原子炉停止

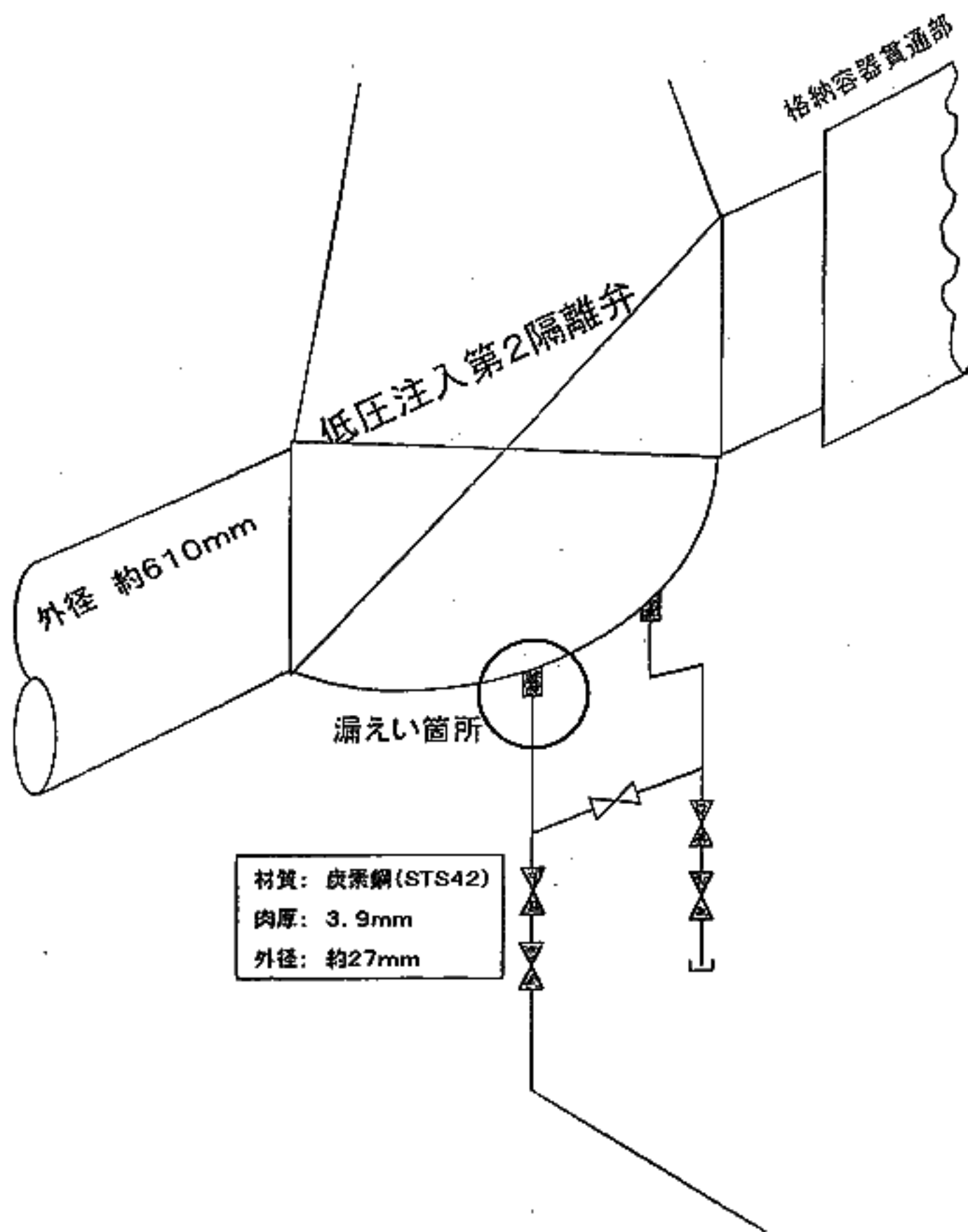
5 : 5 0 頃 原子力保安検査官が発電所に到着

6 : 3 5 ~ 5 0 原子力保安検査官が現場を確認

2号 余熱除去系統概要図



漏えい箇所拡大図



2号機原子炉建屋1階

→ Z

漏えい箇所 (パーソナルエアロック室)

